



令和 7年 8月 発行

発行者:砂山地域集落支援員 阿部久美子

拠点施設:めでたや 防災タブレット62-7273

住所:村上市塩谷1325-48(中央公民館内)



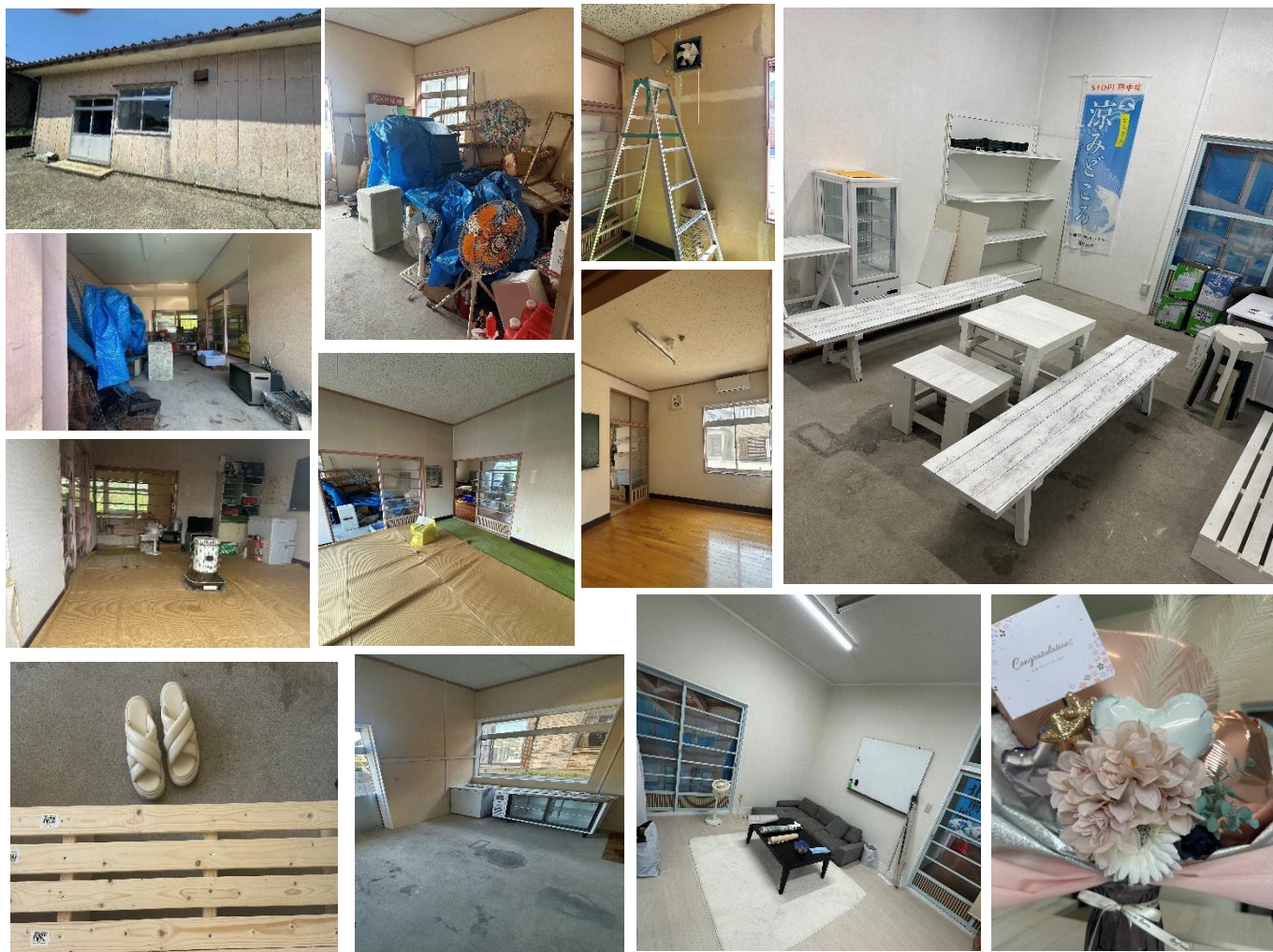
ぎょぎょかいめでたや その後
新しい拠点施設 めでたや

7月30日プレオープン

9月まで土日以外の平日開所

※お盆会議等で閉まることもあります

この度、砂山地域のみなさんや塩谷区区長会ははじめに、塩谷消防団、塩谷区民のみなさん、一緒に働いている集落支援員さんのお力をお借りして、塩谷中央公民館のいっかくに誰でも集える場&クーリングシェルターとして、拠点施設“めでたや”を開所いたしました。(買い物支援は準備中です)



集落で倉庫にしていた場所と消防団が詰所で使っていた部屋を快く貸して下さい、地域の方に周知して理解と賛同を得られるよう事前調整して下さいという姿を見て「今まで頑張ってきてよかった、みなさんが気軽に集まって来られる場所をつくりたい」そう思って作業していると「踏み台がないから作ってきたよ」とか「エアコンみんなで寄付するよ」と逆に地域の方に気遣ってもらったり、自分の業務が忙しいのに合間を縫って「何か手伝いましょうか?」と言ってくれる他の集落支援員さんたちの力を借りて実現することが出来ました。以前のぎょぎょかいめでたやには程遠いですが、はじめの一步を踏み出しました。

すなやま支援員だよりについてご意見、ご要望がございましたら、
お気軽にお問合せください。Eメールアドレス;sunayama.shien@gmail.com





～引き続き熱中症にご注意ください～

連日、新潟県内に熱中症警戒アラートが発表されています。熱中症警戒アラートとは、広域的に例のない危険な暑さ等となり、人の健康に係る重大な被害が生じる恐れがあることを呼びかける情報です。自分の身を守るだけではなく、危険な暑さから自分と自分の周りの人の命を守ることが大切です。特に高齢者や乳幼児等は、熱中症にかかりやすく、エアコンなどが効いた涼しい環境で過ごすことが重要になります。

普段の生活で、熱中症に気を付けて予防しているから大丈夫とは限りません。今一度、出来得る限りの準備や対応が必要です。

【対策例】

- 室内でエアコン等を使い、涼しい環境で過ごす
- こまめな休憩や水分補給・塩分補給
- 身近な場所での熱さ指数(WBGT)を確認した上で、涼しい環境以外では、原則運動は行わない等の対策の徹底
- 熱中症にかかりやすい「熱中症弱者」は、自ら積極的に対策を徹底し、周囲の方も声かけなどを徹底する

熱中症にかかると、めまい、失神、筋肉痛、筋肉の硬直、大量の発汗、頭痛、不快感、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、意識障害、痙攣、手足の運動障害、高体温などの症状が現れます。呼びかけに応えない場合は、迷わず救急車を呼びましょう。到着するまでの間に涼しい場所に避難し、衣服を緩め、体を冷やすなどの応急処置を。呼びかけの反応が悪い場合には、誤飲する恐れがあるので、無理に水を飲ませてはいけません。氷嚢があれば、首、わきのした、太ももの付け根を集中的に冷やしましょう。大量に汗を書いている場合は、塩分の入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水が良いそうです。人類が経験したことのない暑い日が続いているので、対策や声かけをして夏を乗り切りましょう！